

老舗酒蔵の発酵技術から生まれた純国産原料

熟成酒粕エキス KOHAKUYUKI

(化粧品表示名称：酒粕エキス)

コメ由来の熟成発酵成分で
肌バリアを健やかに整える

天然素材・製法

コメ/酵母

低温熟成

発酵成分

アミノ酸

グルコシルセラミド

天然糖

フェルラ酸

α-EG

機能性

保湿

肌バリア

抗酸化

泡質改善



COSMOS
APPROVED

*raw material verified by ECOCERT GREENLIFE,
conform to the COSMOS Standard
and without animal origin*.

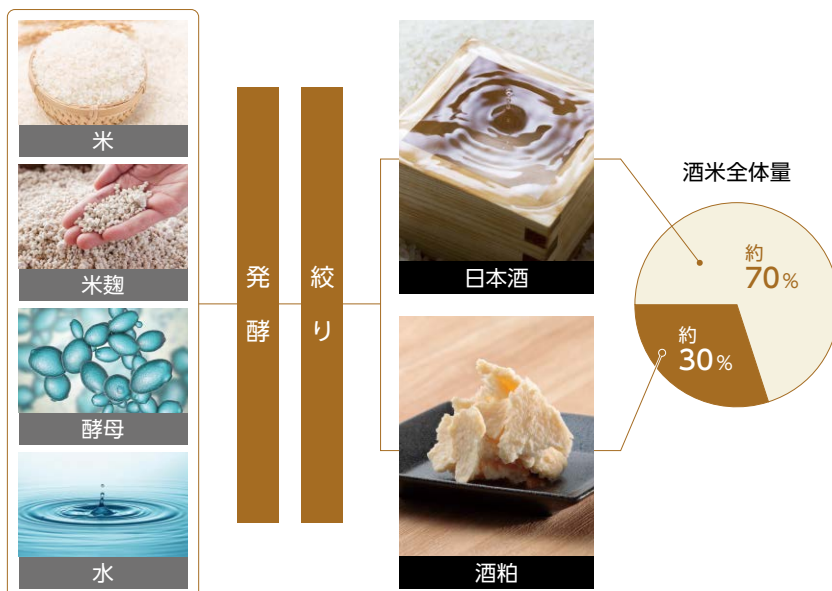
1000年の歴史が育んだ伝統素材と
自然発酵技術が融合。
お肌を健やかに整える美容成分へ。

日本古来の発酵美容素材 『酒粕』とは

お米・麴・酵母、そして、きれいな水を発酵させて作る日本酒。
その製造過程において、日本酒を濾した後の副産物として「酒粕」
が生み出されます。

日本におけるコメの発酵文化は1000年以上前に始まっていたと
されており、両素材とも日本古来の歴史ある発酵素材です。

発 酵 ①



日本古来の素材「酒粕」は もともと不要物と考えられていた？

「粕(かす)」とは、目的成分を取り除いた後に残る不純物やあまりを指す言葉。
日本酒の「粕」は、副産物であるにも関わらず日本各地に食文化として広まっ
ています。それは、日本人が古くから培ってきた「もったいない(MOTTAINAI)」
という精神から生まれた日本らしい文化であり、酒粕は日常のスキンケアにも
取り入れられています。

「酒粕」は、アミノ酸やペプチド、糖類や有機酸、ビタミン類などの栄養素が
豊富に含まれているプロバイオティクスです。その他にも美肌効果で注目を
集めるグルコシルセラミドやコウジ酸、α-EGなど、数多くの美容成分が含まれる
ことも報告されており、美容素材としての価値が見直されています。

まさに、日本古来の発酵技術の代表格「酒粕」は、お米、麴、酵母由来の機能性
成分が凝縮された美容成分の宝庫とも言えます。

熟成酒粕エキス KOHAKUYUKI(琥珀雪)とは

江戸時代創業の老舗酒蔵・渡會本店。受け継がれるその伝統技法により、生み出された「熟成酒粕」に注目しました。その熟成酒粕は溶剤や薬品を一切使用しないナチュラルな抽出法により、琥珀色に輝く発酵美容成分「熟成酒粕エキスKOHAKUYUKI」へと生まれ変わりました。

伝統製法を進化させたこだわりの熟成発酵

発酵②「熟成」



出来たての酒粕は、白く、お米の粒が残った板状の素材です。

この酒粕を低温でさらに1000時間以上、丁寧に二段階発酵させることでやわらかい質感の「熟成酒粕」が仕上がります。

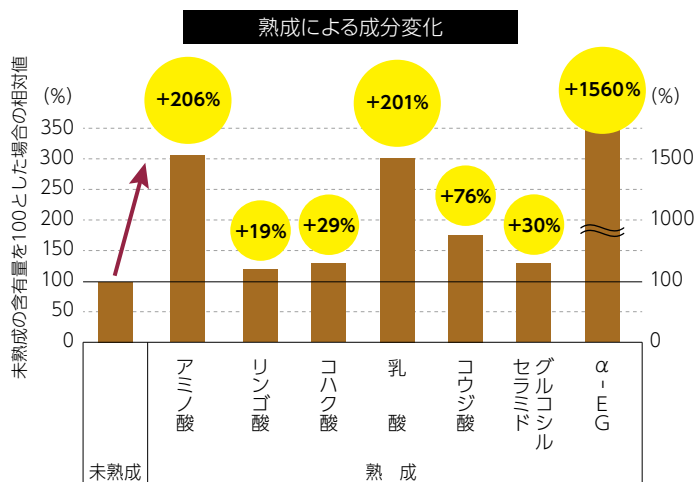
出来たての酒粕から取れるエキスは無色透明であるのに対し、熟成させた酒粕から得られるエキスは美しい「琥珀色」を呈します。

これは、熟成により発酵由来成分が濃縮され、豊富に含まれた証です。

このエキスを化粧品に配合しやすい仕様に仕上げることで、熟成酒粕エキスKOHAKUYUKIが完成します。

熟成により増加する機能性成分

未熟成および熟成酒粕の成分解析を行ったところ、熟成過程を経ることで、酒粕に含まれるアミノ酸や有機酸、コウジ酸の他、肌バリア機能を整えるグルコシルセラミド、コラーゲン産生を促すα-エチルグルコシト(α-EG)の含有量が増加することが分かりました。



社内資料による

KOHAKUYUKI(琥珀雪) STORY

伝統技術でコメを発酵させる渡會本店は雪深い北国にあり、出羽ノ雪酒造とも呼ばれています。KOHAKUYUKIは、渡會本店から連想される「雪」と、エキスの美しい「琥珀色」に由来しています。

琥珀色の
エキス

+

雪深い
北国

+

出羽ノ雪酒造
(渡會本店の別名)

=

KOHAKUYUKI
琥珀雪

北国の大地と伝統技術が育んだコメ由来熟成発酵成分で、雪のように透明感のある美肌へという期待もこめられています。

成分の機能と含有成分

KOHAKUYUKIに含有する美容成分

日本人が日常生活に取り入れ続けてきた天然素材「酒粕」。

伝統的な発酵素材と科学が調和されて生まれた熟成発酵成分が、もっちりとした透明感のある肌づくりをサポートします。

アミノ酸

天然保湿成分
(NMF)

コウジ酸

肌の透明感、ハリ、
弾力をアップ

セラミド

肌バリア機能を強化し、
敏感肌改善に関与
肌の弾力アップ

フェルラ酸

肌を紫外線から守り、
肌の透明感・
アンチエイジングに関与

有機酸

(乳酸、リンゴ酸、コハク酸)

ゴワついた肌を滑らかに。
新陳代謝を促し肌を
柔らかくする。
肌を引き締め、
キメを整える。

天然糖

肌をしっとり保湿、
潤いキープ

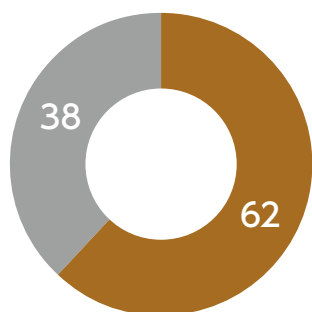
α-EG

真皮コラーゲン密度を
高める、肌弾力アップ

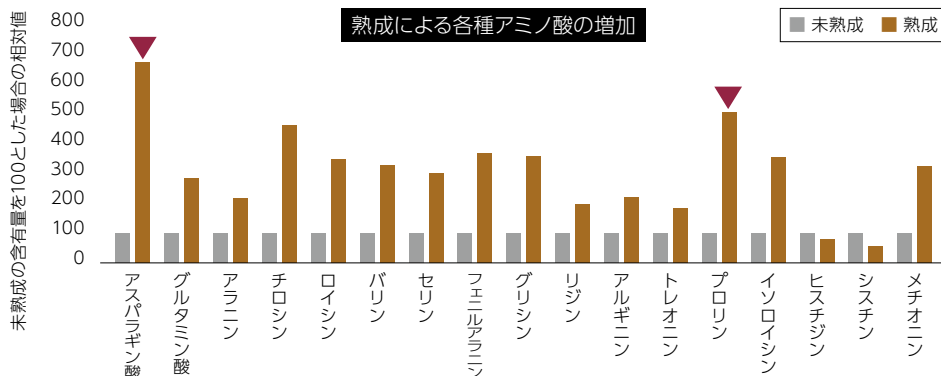
α-GG

コラーゲン・
ヒアルロン酸量を増やし、
肌の保湿性を高める。
肌を美白に導く

アミノ酸組成



含有するアミノ酸のうち、
62%がNMF成分



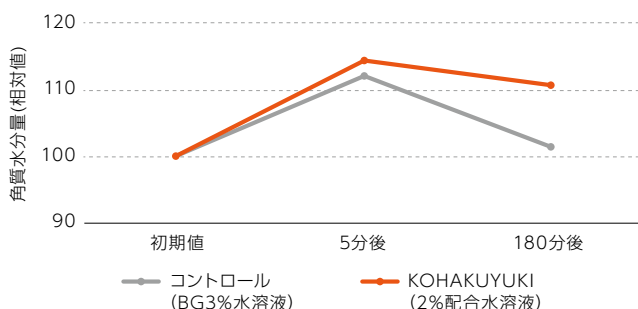
各種アミノ酸においても、エネルギー代謝のもとになるアスパラギン酸やコラーゲンの原料となり肌の潤いに関与するプロリンなどが熟成により大幅に増加することが確認されました。

保湿効果 (ヒト試験)

KOHAKUYUKIを配合することで、塗布3時間後も高い保湿効果を維持し続けました。即時型・持続型の保湿効果が期待できます。

試験方法

前腕部に各検体を塗布。塗布後の肌水分量の変化を測定した。



社内資料による

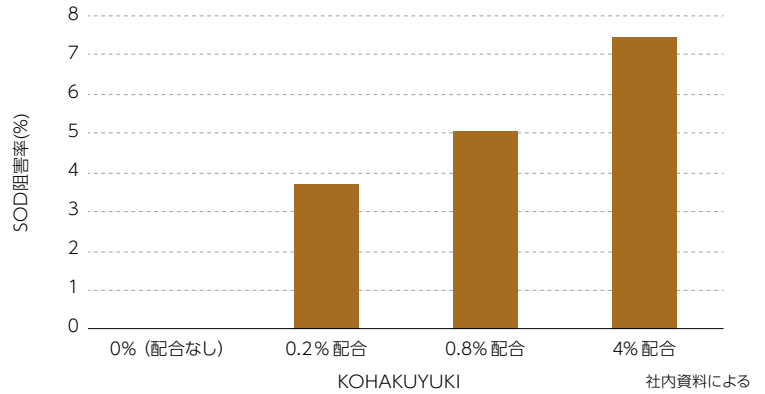
抗酸化 (In vitro)

KOHAKUYUKIに、濃度依存的に活性酸素を消去する効果(抗酸化効果)が確認されました。

KOHAKUYUKIには、活性酸素により引き起こされる老化(しわ・たるみや色素沈着など)の抑制効果が期待されます。

試験方法

SOD Assayキットを用い、SOD阻害率を吸光度測定により測定し、SOD様活性率%(活性酸素消去活性)を算出した(吸光度:450nm)。

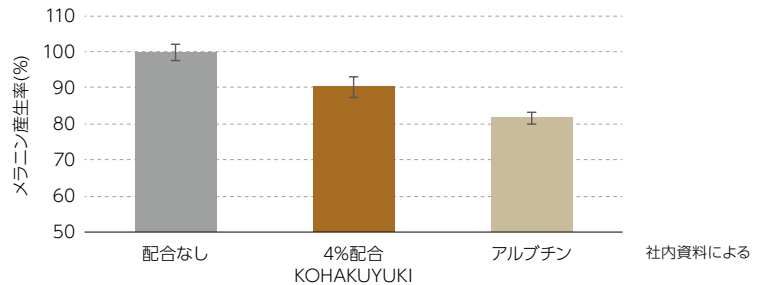


美白効果 (In vitro)

KOHAKUYUKIに、メラニン産生抑制効果が確認されました。しみ・くすみの原因となるメラニン産生を抑え、透明感のある肌に導く効果が期待できます。

試験方法

メラニン産生細胞に各検体を添加し、72時間培養後、吸光度測定にて、メラニン産生率を算出した。

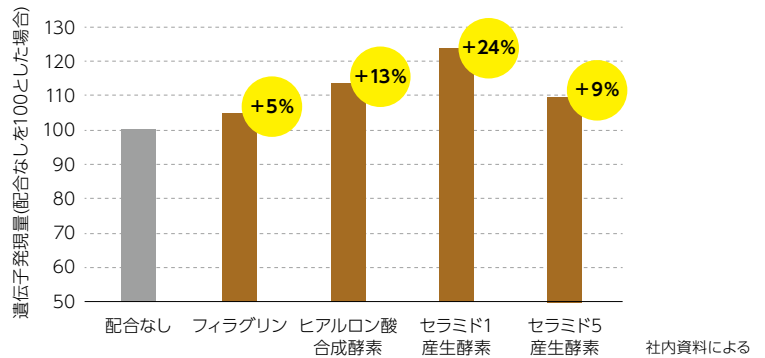


肌バリア・保湿 (In vitro)

KOHAKUYUKIには、肌バリア・保湿機能に関するフィラグリン、ヒアルロン酸合成酵素、セラミド産生酵素の遺伝子発現量を増加させる効果が確認されました。肌内部より、肌本来のバリア機能・保湿力を整える効果が期待できます。

試験方法

KOHAKUYUKIを1%配合した培地をヒト表皮角化細胞に添加し、48時間培養後、リアルタイムPCR法により遺伝子発現量を解析した。

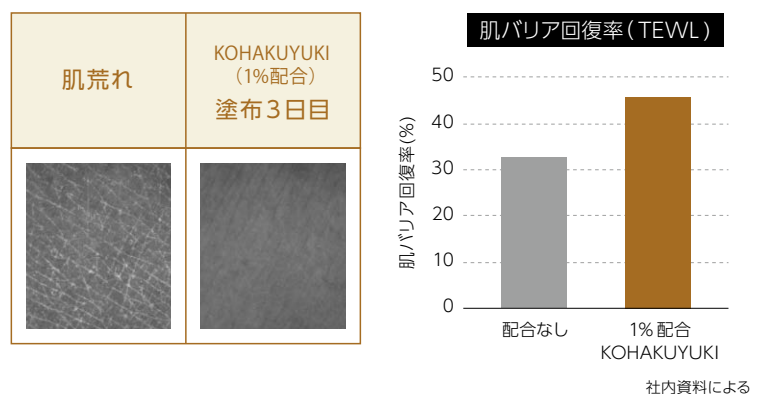


肌バリア (ヒト試験)

肌荒れ部位にKOHAKUYUKIを塗布することにより、肌の乾燥部分(画像の白い部分)が目立たなくなり、肌が滑らかになっていることが確認されました。また、コントロールに比べ、肌バリア機能が迅速に回復していることが確認されました。

試験方法

テープストリッピング及びアセトン処理で肌荒れを作製。KOHAKUYUKIを3日間連日塗布した時の外観を観察した。またその際に経表皮水分蒸散量(TEWL)を測定し、その結果から肌バリア回復を算出した。



基剤特性

KOHAKUYUKIの配合量を調整することで泡の感触をコントロールすることが可能です。

- もちもち感、弾力のある泡
- キメ細かく、重みのあるしっとりとした泡

泡質改善効果

泡立ち改善

KOHAKUYUKIを配合することで、石鹼の泡立ちが良くなりました。

また、キメ細かく、へたりにくい泡質になることが期待できます。

試験方法

各検体を配合した石鹼を泡立て、泡立ち具合を観察する。



社内資料による

75秒後の泡の様子



密着泡



社内資料による

KOHAKUYUKIを配合することで泡の密着力がアップ

弾力泡

KOHAKUYUKIには、洗顔フォームの泡弾力をアップさせる効果が期待できます。

試験方法

KOHAKUYUKIを配合した洗顔フォームを泡立てる。泡の上にコイン(2g)を置いて泡の弾力性を確認した。



弾力泡



社内資料による

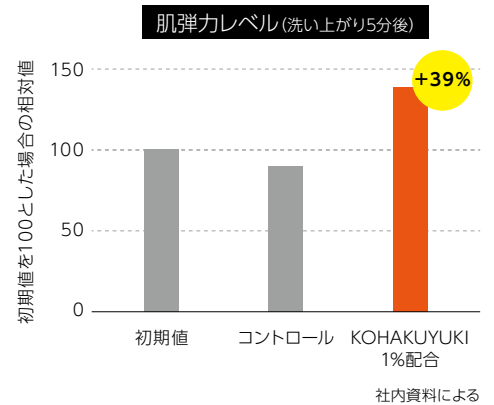
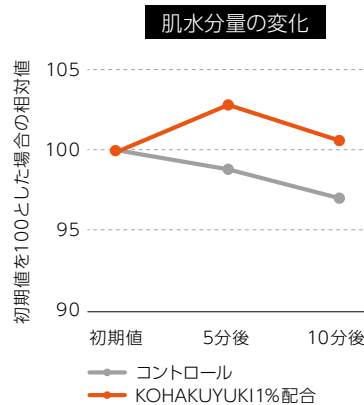
洗いあがりの肌水分量と肌弾力（ヒト試験）

KOHAKUYUKIでは洗浄後の乾燥が抑えられることや、洗浄後の肌弾力が上がることが確認されました。

KOHAKUYUKIは洗浄による肌の乾燥・つっぱり感を抑え、もっちりとした洗い上がりとなる効果が期待できます。

試験方法

KOHAKUYUKIを配合した洗顔フォームで手の甲を洗浄。（洗い30秒、流し15秒）軽くぬぐった後の肌水分量を経時的に測定した。また、同条件で洗浄した後、5分後の肌弾力レベルを測定した。



基本物性

物性データ

製品仕様

pH12で色が濃くなる傾向が見られます。

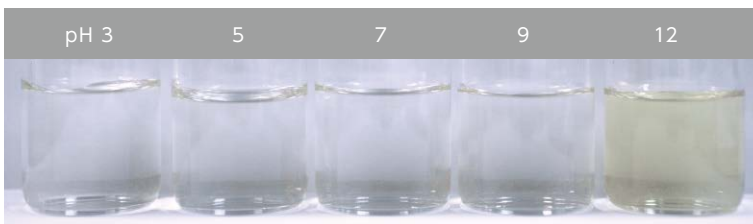
試験方法

KOHAKUYUKI(原液)をpH 3、5、7、9、12に調整し、色調を測定する。



品質規格

規格項目	規格値
性状	淡黄色～黄色の液体で、わずかに特異なおいがある
確認試験	(1) アミノ酸 暗紫色を呈する (2) 糖 赤色の沈殿が生じる
純度試験	(1) ヒ素 2 ppm以下 (2) 重金属 20 ppm以下
pH	4～6
蒸発残分	0.3～0.8%
定量法 糖濃度	0.4～0.7%
微生物試験 一般生菌数	100 CFU/mL以下



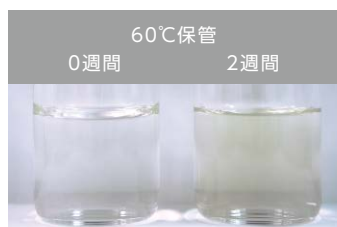
社内資料による

温度安定性

高温で2週間保管することで、若干色が濃くなる傾向が見られましたが、規格内の物性であり、配合時には大きな影響はないと考えられます。

試験方法

KOHAKUYUKI(原液)を室温、60℃で2週間保管し、色の変化を観察する。



社内資料による

加熱による色の変化

高温で短時間加熱しても色はほとんど変化しませんでした。

試験方法

KOHAKUYUKI(原液)を80℃で3時間加熱した後、色の変化を観察する。



社内資料による

産地



山形県鶴岡市
 広大な庄内平野を有する
 日本屈指の米の産地
 ユネスコの食文化創造都市

素材



低温熟成により発酵させた酒粕
 純国産素材
 100%植物由来
 自然由来指数: 1
 ※ISO16128:配合水を含む
 ※植物由来BG

製法



COSMOS
 APPROVED

"raw material verified by ECOCERT GREENLIFE, conform to the COSMOS Standard and without animal origin".

二段階発酵による「熟成」
 ナチュラルな抽出
 溶剤・薬品不使用
 COSMOS登録

老舗酒蔵・株式会社渡會本店

酒蔵取材可能 ご希望の方は事前にご相談ください。

国内で唯一ユネスコ食文化創造都市に指定されている山形県鶴岡市は、広大な庄内平野を有する日本屈指のお米の産地であり、水や気候に恵まれ、技術力の高い酒蔵が数多く存在します。

KOHAKUYUKIの共同開発先である老舗酒蔵・渡會本店は創業約400年の歴史と脈々と受け継がれた高い技術力で、日本古来の伝統技法とパーソナライズ化を融合させた醸造技術を化粧品原料に応用しています。



配合推奨量: 1 ~ 3%

安全性評価: ヒト皮膚累積刺激性試験 (HRIPT) 実施済み
 皮膚刺激性代替試験 (OECD TG439) 刺激性なし

製品番号	製品名	化粧品表示名称	INCI名/中文名称	他成分	包装	サンプル
SLE-121	熟成酒粕エキス KOHAKUYUKI BG	酒粕エキス	ORYZA SATIVA (RICE) LEES EXTRACT / 稻 (ORYZA SATIVA) 糟提取物	BG (植物由来)	1kg	30g

原産国: 日本 原産地: 山形県

※本資料の記載内容は、現時点で入手できた資料及び実験データに基づいて作成しておりますが、記載内容はいかなる保証をなすものではありません。※本資料に記載された内容は、都合により変更させて頂くことがございますので予めご了承ください。掲載データ及び関連書類に関する著作権、意匠権を含む一切の知的財産権は株式会社高研に帰属し、許可なく複製・転載・引用することは一切禁じます。尚、これら材料の安全な使用にあたっては、当該製品のMSDSを事前にご参照ください。また、当該製品を配合した消費者向け製品への表現については、医薬品医療機器等法の関連法規に従うようご注意ください。

お問い合わせ

株式会社 高研

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14
 TEL 03-3868-0560 FAX 03-3816-3570
<https://koken-cosme.com/>

